

KNEELAX3充電機取扱い時の注意点

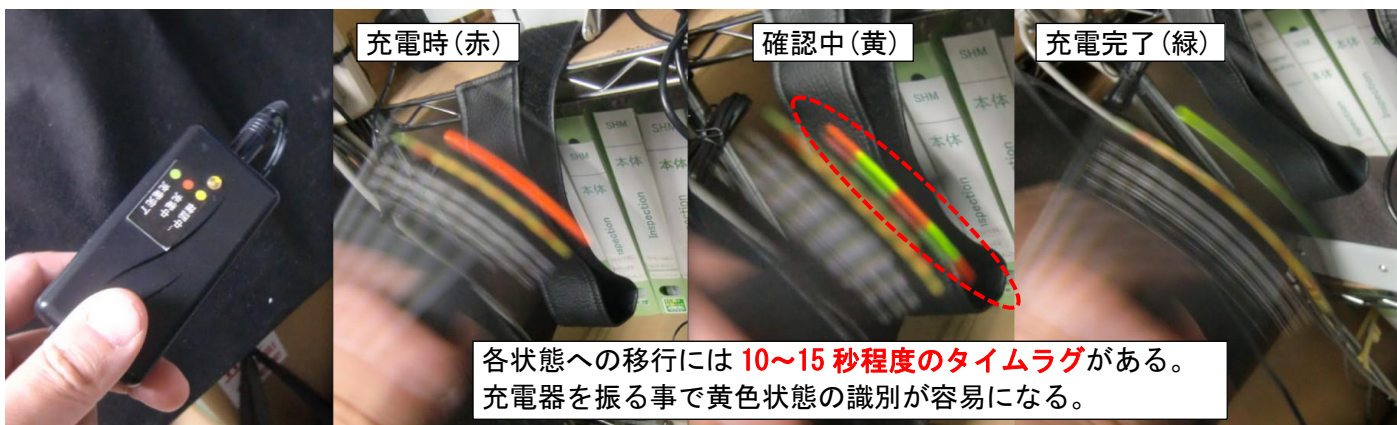
【充電器の動作について】

- ・充電器の状態は赤、黄、黄⇄緑点滅、緑の四通り
- ・各状態変化には10秒以上のタイムラグがある
- ・満充電の状態でも充電動作になる事があるため、電池の充電状態の判別には必ずしも適さない
- ・PC画面の電池アイコンも参考にすべきだが、電池が劣化した状態ではこれも正しく表示されない



KNEELAX ソフト上で右側に表示されている電池のアイコンは、パソコンが本体の接続を認識しているとともに、電池残量を示している。

- ・充電器を繋いでも充電状態(黄)にならない場合、充電器ではなく本体内蔵充電電池が壊れている可能性が高い。
- ・充電器をニーラックス本体に接続すると充電を開始するが、本体のメインスイッチがオンの状態では充電されず、本体へも電気は供給されない。そのまま計測すると本体へノイズが伝わり計測結果に悪影響が出る。
- ・充電器の表示は赤と緑の発光体を内蔵したLEDであり、黄色状態は赤と緑が15Hz程度で点滅した状態である。黄色と緑の判別は時に困難だが、ACアダプタを振ると赤緑の縞が浮かぶので判別しやすい。



- ・充電器のプラグの抜き差し等による充電器の状態変化にはタイムラグがあり、およそ10~15秒程度遅れる。また、充電器をACコンセントの挿入した直後は、充電状態(赤)や、充電終了(緑)になっている場合もあり、それぞれ数秒で黄色状態に切り替わる。
- ・充電中にニーラックスのスイッチがオンになると、充電器にとってはプラグを抜かれたのと同様になり、10秒程度で黄色に戻る。ニーラックスのスイッチをオフにすると、10~15秒程度で赤くなる。
- ・充電終了間際の数十分間は、緑と黄の点滅状態になる。実際には緑の発光体は常時点灯したままで、赤色が1Hz程度で一瞬の間に1~2度点滅する。

【充電電池について】

- ・充電電池はニッケル水素充電電池を8本組み合わせたパッケージであり、9.6v/1800mw/hの容量を持っている。
- ・充電回数の公称値はおよそ500回程度だが、完全に放電せずに50%以上残った状態で再充電する事で2千回程度の充電回数に伸びる。保管時は満充電に近い程、充電電池の劣化が防がれる。ただし、組み合わせ電池のため、中のいくつかが先に劣化した場合は、その一本が常に過充電・過放電となり、劣化を加速させる事がある。
- ・ほぼ毎日使用した場合の使用期限はおよそ2、3年程度と考えられるが、過去の実績から3~4年程度保っている施設が多い。

